

スポーツ施設

Clubhouse



緩勾配の屋根に50kWhの太陽光発電パネルが設置されている。



山形県総合運動公園内に建設された「モンテディオ山形」のクラブハウス。11個の住宅ユニットからなり、約1200㎡の規模がある。写真右手のブルーの壁側(西面)が練習グラウンドに面するメインファサード。左手の白い壁側(北面)に屋内トレーニングルームへ直接入室できる入り口が設けられている。

「トラス」「ユニット」で大空間・短工期が実現 ツーバイフォー 2×4 サッカークラブハウス

2020年6月、プロサッカークラブ「モンテディオ山形」のクラブハウスがツーバイフォー工法による準耐火建築物として建設されました。チームの練習場がある山形県総合運動公園内に建てられたこの施設は「日頃トレーニングをしているグラウンドを見渡せるように配置し、西面がメインファサードとなるベース基地をコンセプトとしました。また、南北に長い建物は幅の狭い2つの船体が結合した双胴船を見立てたもので、帆に風を受けてサッカー界という大海原を進んでいくイメージです」と設計者は語ります。

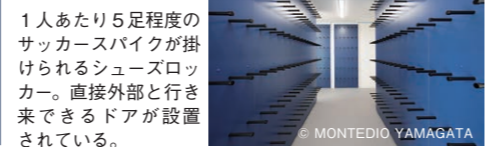
内部空間は選手・スタッフが一堂に集まれる空間や、選手一人ひとりの顔が常に見えコミュニケーションを高められる設計が求められました。そこで、施工会社のブランドの住宅規格である3間(5.46m)×6間(10.92m)のユニット11個を連ねた約1200㎡程度の規模とし、2階床組と小屋組に「ネイルプレートトラス」を用いることで大空間が創出されました。このトラスの採用により部品点数の削減や配線・配管スペースの確保が容易に。さらに壁パネルを採用したことで全体工期が短縮され、高いコストパフォーマンスも実現しました。壁パネルの縦枠には国産杉、床合板には山形県産材が使用され地域の林業にも寄与できました。

事業主は「新しい選手を誘うときに『こういうクラブハウスがあるんだよ』と言える施設ができた」と喜びを語りました。



東側のエントランス。壁面はクラブカラーのブルー。

各選手の顔が見渡せるよう35台のデスク付きロッカーが配置されたロッカールーム。中央の柱の四面にはミーティング用のモニターを設置予定。



1人あたり5足程度のサッカースタイクが掛けられるシューズロッカー。直接外部と行き来できるドアが設置されている。



約30席のスペースが確保された2階の食堂。奥に厨房と大型冷蔵庫が置けるバックヤードがある。

広さ約35坪(11m×11m)で、吹抜けの天井高が約5.5mの大空間の屋内トレーニングルーム。壁2面が鏡張りになっている。梁はトレーニングチューブを吊り下げることが想定されている。

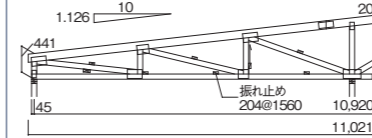
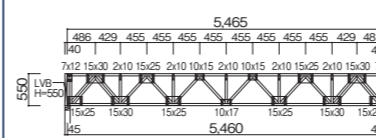
大空間と短工期を実現させたネイルプレートトラス



2階床組の平行弦トラス

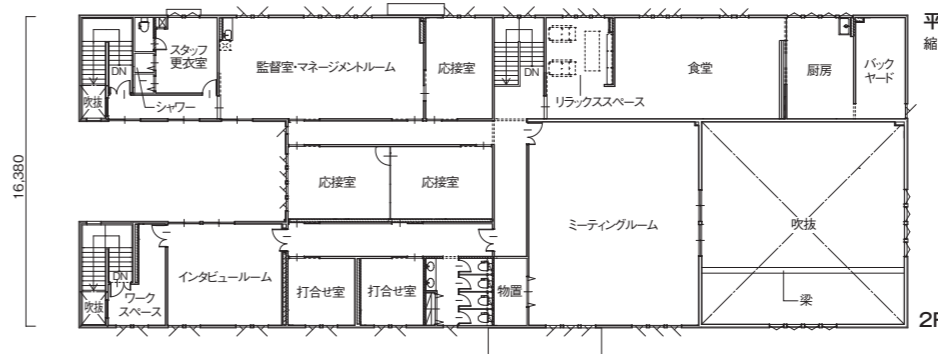


小屋組の台形のトラス



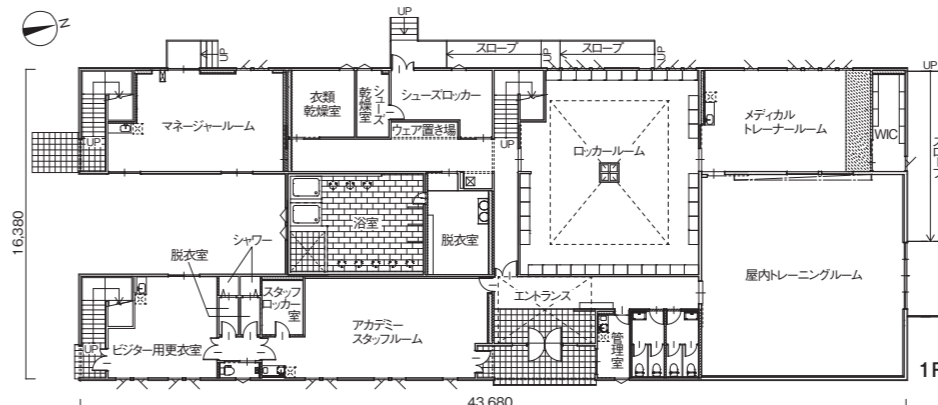
縮尺 1/130

縮尺 1/130



平面図
縮尺 1/400

プランは選手、監督、スタッフたちの意見が反映され、外部との出入りや各部屋とのつながりを重視した、スムーズで使いやすい動線となっている。



物件概要

モンテディオ山形 クラブハウス

所在地：山形県天童市
用途：サッカークラブのクラブハウス
構造：枠組壁工法[準耐火建築物]
規模：2階建て
敷地面積：11,546.47㎡ (3,492.81坪)
建築面積：701.66㎡ (212.25坪)
延床面積：1,221.71㎡ (369.57坪)
事業主：(株)モンテディオ山形
設計・施工：(株)クリエイト礼文
工期：2020年1月～5月
法規制：市街化調整区域